

報告事項名 第3回新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会の概要報告について

特別支援教育課

第3回「新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会」会議概要

1 日 時 令和2年8月27日(木) 午前10時から正午まで

2 場 所 徳島グランヴィリオホテル 1階 ヴィリオルーム

3 出席者

(1) 委員 13名中12名出席

(2) 県教委 教育次長, 特別支援教育課長, 事務局員5名

4 会議次第

(1) 開会

(2) 県教育委員会あいさつ

(3) 検討会

○障がいのある人の就労支援について「Creer(クレエール)の取組」(喜多條委員より)

○事務局からの説明①

・特別支援学校における新たな教育内容を支える教育環境整備

○協議・意見交換

○地域生活支援拠点「ふらっとKOKUFU」について(相原委員より)

○事務局からの説明②

・国府支援学校の機能強化について

○協議・意見交換

(4) その他

(5) 事務連絡

(6) 閉会

5 委員からの発表内容

(1) 障がいのある人の就労支援について「Creer(クレエール)の取組」(喜多條委員より)

・就労継続支援B型事業所であるレストラン「Creer」の中で、障がいのある人たちのためのわかり易い環境設定、食品を扱う上で必要とされる力について、実演を交えて紹介があった。

・今後の特別支援学校において、「調理」、「食品加工・販売」分野の教育及び施設設備を充実することの重要性について提案いただいた。

(2) 地域生活支援拠点「ふらっとKOKUFU」について(相原委員より)

・国府支援学校に隣接する「障害児入所施設 未来」の敷地内に建設され、令和3年9月事業開始予定である「ふらっとKOKUFU」について、グループホーム棟や福祉避難所としての機能強化、農福連携の推進など、新築施設と推進事業の概要について説明があった。

・福祉施設と特別支援学校との「教福連携モデル」の先駆けとして、今後、国府支援学校との連携強化をさらに進める方向性について提案いただいた。

6 協議の柱

(1) 特別支援学校における新たな教育内容を支える「教育環境整備」

- ①新しい時代に応じた作業内容や施設整備
- ②地域との連携や防災機能の強化を図る施設整備
- ③生涯スポーツや文化芸術活動に取り組むための仕組みや施設整備

(2) 国府支援学校の機能強化

7 検討委員会委員から出された主な意見

(1) 特別支援学校における新たな教育内容を支える「教育環境整備」

①新しい時代に応じた作業内容や施設整備

- ・低学年の子供たちにとって分かりやすく学びやすい教室環境や子供のニーズに合わせて可変的に組み合わせることができる教室作りをしてほしい。
- ・作品の展示や販売、和太鼓演奏の披露など、地域の方と接することができるコミュニティスペースや、大きめの空間をパーティションで区切って使うような多目的で自由度の高い作業室などを作ってはどうか。
- ・委員からの提案にあったような「食品加工」ができる設備や「ふらっとKOKUFU」等の福祉施設が進めようとする農福連携の担い手になる力を付けられる施設があったらいい。

②地域との連携や防災機能の強化を図る施設整備

- ・安全な移動や避難を可能とするバリアフリー対応の施設を希望する。
- ・障がい者が重度であったり、医療的ケアが必要であったり、また、集団の中で精神的に不安定になりやすい児童生徒も増えているが、そのような方々が安心して過ごせるスペースがないという現状がある。災害等のいざという時に、特別支援学校が安心して過ごせる拠点となれば良い。
- ・学校の駐車場の確保を含めた児童生徒の送迎時の安全な環境のあり方について整備をしていただきたい。

③生涯スポーツや文化芸術活動に取り組むための仕組みや施設整備

- ・屋外遊具の充実や運動場の整備を含めた屋外で活動できる場所の充実など、体力を養うための運動環境の設備を是非考えていただきたい。
- ・障がい者アートは非常に注目されており、県外には、知的障がいの方が障がい者アートの自立されている。文化芸術を学べる環境は魅力的である。
- ・スポーツや文化芸術というのは、専門性の高い分野である。様々な専門家を講師としてお迎えして、教えてもらうことが本物に触れることにつながる。

(2) 国府支援学校の機能強化

- 基本的な生活習慣の獲得や、地域の防災拠点の充実につながる宿泊設備の整備が必要。それにより、「調理」や「食品加工」を行う上で大切な「清潔習慣」といった日常生活面の指導や、「ふらっとKOKUFU」に整備されるグループホームでの生活など、卒業後を見据えた指導ができる。
- リサイクル活動を積極的に行っているため、エコ活動室やエコステーションホール等のキャリア教育を支える施設があれば、さらに活動に集中して取り組むことができる。
- 体育館については、地域住民に集まっていただき、みんなが使えるような体育館であるべきだと考える。また、専門家に入ってもらって、全国大会に出場できるような生徒を徹底して指導するのも良いと思う。

8 今後の予定

10月29日(木) 第4回 新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会
議題(予定)

- ICTを活用した特別支援学校間ネットワークについて
- 中間報告書(案)の検討